

ふれあい

No. 3

編集発行

上越市立春日小学校

校長 田邊 道行

人との出会いが成長を支える

5月23日（土）に開催された令和8年度体育祭には、多くの皆様からご来場いただき、子どもたちの頑張りを温かく見守っていただきました。心より感謝申し上げます。

新年度が始まって2か月余りが過ぎました。子どもたちは、新しい友達や先生との出会いの中で少しずつ関係を築き、自分らしさを発揮しながら学校生活を送っています。体育祭でも、仲間とのかかわりの中で力を発揮し、成長する姿が数多く見られました。人との出会いは、その後の人生に大きな影響を与えることがあります。私自身、この春、改めてそのことを実感する出来事がありました。

教え子たちとの再会

その出来事とは、5月3日に開かれた教え子たちとの再会です。私が1992年度から1995年度まで勤務した旧松之山町立浦田小学校の教え子たちが集まり、還暦のお祝いの会を開いてくれました。教え子たちは2年前から計画を進めていたそうで、北海道や沖縄から駆け付けてくれた人もいました。みんな40歳を超え、すっかり大人になっていましたが、笑顔や話し方には子どもの頃の面影が残っています。さらに、自分の子どもを連れて参加した教え子も多く、山あいの宿泊施設には40人ほどが集まりました。30年以上前の出会いが今も続いていることに、人との縁の不思議さとありがたさを改めて感じました。

教師への道を開いた出会い

実は、浦田小学校は私にとって特別な学校です。私は大学へ進学する前、高校卒業後の1年間を「主事」としてこの学校で勤務していました。59豪雪と呼ばれた大雪の年で、ゴールデンウィークになっても田んぼには雪がたくさん残っていたことを覚えています。事務の仕事だけでなく、スノーモービルでクロスカントリースキーのコースづくりをしたり、子どもたちと遊んだりしながら過ごしました。

その頃、教務主任を務めながら6年生の担任をしていた吉川信夫先生（大豆在住）や、当時中学校教員だった早川義裕先生（現上越市教育長）と教員住宅で共に生活する中で、子どもたちに真剣に向き合う教師の姿に触れました。その姿に憧れ、「教師になりたい」と思うようになったのです。離任式の日、「今度は、本当の先生になって、また浦田小学校に来てください」と泣きながら話してくれた子どもの言葉は、今でも忘れられません。そして、その言葉どおり、私は教員となり、後に浦田小学校へ戻ることになったのです。

多様な出会いの中で学ぶ

その後、私は上越教育大学を卒業し、教員となり、2校目で再び浦田小学校に勤務することになりました。最初に担任したのは、5年生9人と6年生5人の複式学級でした。同じ教室で異なる学年の授業を同時に進める毎日は、とても大変でしたが、その経験が、私の授業づくりの土台となりました。

当時の浦田地区では山村留学生を受け入れており、その学級にも5年生2人、6年生1人の山村留学生が在籍していました。そして翌年、6年生5人が卒業すると、持ち上がった6年生9人に加えて新しい5人の山村留学生が加わり、再び14人となった6年生学級を担任することになりました。

地元で育った子どもたちと、関東や四国など様々な地域からやってきた子どもたちとは、考え方や生活習慣の違いもあります。少人数学級で日常生活を共にする時間が長かったこともあり、時には衝突したり、トラブルになったりすることもありました。しかし、その都度話し合い、相手を理解しようと努力する中で、少しずつ互いを認め合う関係が築かれていきました。

今回、30年以上ぶりに再会した教え子たちの姿を見ながら、あの頃の様々な出来事を思い出しました。振り返ってみると、最初からよい出会いだったのではなく、互いにかかわり続ける中で、よい出会いへと変わっていったのだと思います。私自身も、そうした多様な出会いの中で育てられてきたように感じています。

出会いがつくる人生の財産

祝いの会では、バーベキューをしたり、昔の写真やビデオを見たり、夜にはギターを弾きながら当時の学級歌を歌ったりして、懐かしい時間を過ごしました。当時、毎日のように書いていた学級だよりを綴じたファイルを黙々と読み返している教え子もいました。「ページをめくるたびに当時の出来事がよみがえる」と楽しそうに読む姿に、私自身もうれしい気持ちになりました。大人になった教え子たちは、家族のこと、子育てのこと、仕事のことなどに悩みをもちながらも、それぞれの人生を歩んでいました。小学生だった頃には想像もしなかった姿ですが、どの教え子も自分なりの道を懸命に進んでいました。

2006年度、日本で初めて文部科学大臣優秀教員表彰が創設され、その初回の受賞者の一人に私はなりました。しかし、その評価は私個人に与えられたものではなく、それまでに会ってきただけの子どもたちや先生方、保護者や地域の皆様と共に築いてきた教育実践に対していただいたものだと考えています。振り返ってみると、私の教員人生は、多くの人との出会いと支えによって成り立っていました。その一つ一つの出会いが、私を成長させてくれたのだと思います。

今回の再会を通して改めて感じたのは、人との出会いは、その時だけで終わるものではなく、その後の人生を形づくっていくということです。私自身も、多くの人との出会いによって育てられ、今の自分があります。そして、30年以上たった今もなお続く教え子たちとのつながりを、何よりの財産だと感じています。

よい出会いを探すのではなく、出会いをよいものにしていける力を

学校では、新年度が近付くと、「あの子と同じクラスにしてほしい」「あの先生を担当にしてほしい」といった願いや不安の声をいただくことがあります。もちろん、子どもにとって安心できる環境は大切です。しかし、人は自分にとって都合のよい人とだけかかわって生きていくことはできません。将来、社会に出れば、自分とは考え方の違う人や、初めは苦手だと感じる人とも力を合わせながら生きていくことになります。

私自身を振り返ってみても、浦田小学校で出会った先生方や子どもたちとのかかわりが、その後の人生を大きく方向付けました。当時は想像もしていなかった出会いが、教師を志すきっかけとなり、教員として成長する力となり、そして30年以上たった今も続く縁となっています。

人との出会いは、偶然のようであり、その後の人生を形づくる大切な財産です。「どんな人と出会うか」は選べないことがあります。しかし、「その出会いをどのようなものにするか」は、自分自身で決めることができます。出会いの価値は、相手によって決まるのではなく、その出会いから何を学び、どう成長するかによって決まるのではないのでしょうか。子どもたちには、様々な友達や先生、地域の方々とのかかわりを通して、自分の世界を広げていってほしいと思います。そして私たち大人も、子どもたちが新たな出会いに前向きに向かっているよう、その成長を温かく支えていきたいものです。



子どもたちの毎日から～生活指導部より～

4月、新しいメンバーとの顔合わせ会からかけはし班活動がスタートしました。仲間づくりゲームでは、緊張しながらも笑顔で活動し、友達とのつながりを深める姿が見られました。その後の「1年生を迎える会」では、全校で力を合わせて1年生をあたたかく迎え、みんなで楽しむ時間となりました。さらに、先月行った体育祭では、大きな声援と協力の姿があふれ、どの学年も大盛り上がりでした。こうした、仲間と協力する活動を重ねる中で、異学年同士のかかわりが深まってきています。



3年生が作ったクイズ
に正解して大喜び♪



かけはし班ダンスも楽しく踊りました！



～6・7月の生活目標について～

・目を見て あかるい声で
あいさつしよう



・あたたかいメッセージ
を伝え合おう



あいさつの合い言葉は「笑顔であいさつ春日っ子」！生活向上委員会を中心に積極的にあいさつを呼び掛けています。

また今月は、各学年でふわふわ言葉を使ったソーシャルスキル教育（全校 SSE）も実施しています。反対のククク言葉は、相手だけでなく自分の心やその成長も傷付けます。相手のことを思いやる、あたたかいメッセージを伝え合っていけるよう、学校と家庭で一緒に取り組んでいきましょう。



このチューリップは、昨年11月にボランティアとして球根植えに参加してくれた児童が、心を込めて植えてくれたものです。今年の春、学校花壇のチューリップが色とりどりに咲きそろい、登校してくる児童を明るく迎えてくれました。花壇の脇では、「おはようございます！」と元気なあいさつする子どもたちの姿が見られ、朝の時間が一層温かい雰囲気に包まれていました。



6月は、いじめ見逃しゼロ経調月間です。学校では、生活アンケートや WEBQU アンケートの実施、一人ずつ話を聞く教育相談も行っています。お子さんのことで心配なことがありましたら、お気軽にお声掛けください。

カラフル 学年（1年生）

学年目標
だいすき いっぱい！

4月9日に、104名の元気な1年生が入学しました。学年の愛称は「カラフル」。「一人一人が色『個性』をもち、団結して挑戦していったほしい。」という願いを込めた愛称です。一人一人が自分の色を輝かせてがんばっています！



春日小学校だいすき！

「1年生を迎える会」では、上学年と楽しく活動ができて、大喜びでした。お礼に「校歌」を歌いました。

あさがおさんだいすき！

アサガオのたねをまき、芽が出てきました。毎日水やりをして、大切に育てています。

どうぶつだいすき！

高田農業高校に動物の見学に行きました。高校生の先生に教えてもらいながら、楽しくふれあうことができました！

4学年 つばさ

【学年目標】

みんなで協力
何でもチャレンジ
明るく元気なつばさっ子

4年生になり、上学年の仲間入りをしました。学校行事やのびやか活動に意欲的に取り組んでいます。3年生で知った春日山のお宝を未来につなげるために自分たちは何ができるのかを考えて活動しています。

5月 探鳥会&体育祭

6月 交通安全教室&義の土一袋運動



春日山には、
自然がたくさん
あるから鳥もた
くさんいるんだ
と思いました。



自転車走行や交通ルール
について学びました。これ
からの生活に生かし、安全
に過ごします。

赤白が全力で声を出した体育祭。勝ち負けだけではない大切なことを学びました。



土運びができてうれしかったです。これからも春日山を守るために続けたいです。

